

ATISユニット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「安全のために」「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取り扱い説明書および別冊の「安全のために」「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ATIS情報のサービスに関して、詳しくは交通情報サービス (株) にお問い合わせください。

フリーダイヤル (0120) 106-846

取り付けと接続は、別冊をご覧ください。

XA-160A

XA-165A

©1995 by Sony Corporation

目次

はじめに	2
主な特長	3
ATIS情報のメニュー	4
ATIS情報を地図画面に表示させる	5
知りたい情報を選ぶ	7
道案内情報を表示させる	9
予測道案内情報を表示させる	11
ATISセンターなどからの メッセージを見る	12
特定区間の所要時間を知る	12
ATISデモの見かた	13
ATIS情報の画面表示	14
シンボルマークの詳しい情報を見る .	16
こんなメッセージが 表示されたときは	17
故障かな？と思ったら	18
主な仕様	19

この装置は、第2種情報処理装置(住宅地域又はその隣接した地域において使用されるべき情報処理装置)で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しております。

しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因になることがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

はじめに

ATIS (Advanced Traffic Information Service) とは

ATISとは交通情報サービス(株)が提供する道路交通情報サービスのことです。本機のATIS機能は、日本道路交通情報センターなどで収集されATISセンターから送られてくる渋滞や事故などの道路交通情報を、シンボルマークや色などでわかりやすく画面に表示するものです。また、それらの情報をもとにした推奨経路を地図画面に表示することもできます。本機は、ATIS対応地図ディスクを購入して、お手持ちの携帯電話などと接続することにより、ATISセンターからの情報を収集します。

* 95年4月より、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県の主要道路および主要高速道路(一部を除く)の交通情報の提供サービスが実施されています。

ご注意

- ・ ATIS対応ディスクを使用しない場合は、ATIS機能は働きません。
ATIS対応ディスク：
「ATISサービス対応ナビソフトドライブマップ 関東版2」(株)ゼンリン
- ・ ATISサービスの中には地域によって利用できない項目がある場合もあります。

主な特長

ATIS機能について

市販の携帯電話などと接続して、道路交通情報を見ることができます。ただし、電話の機種によっては接続できない場合があります。また、電話の契約時に付加サービスの契約が必要となる場合があります。

ATIS機能ご利用の際は、デジタル携帯電話のご使用をおすすめします。ATISセンターへのアクセスをより簡単かつ正確に行うことができます。

- ・ 道路の混雑状況や交通規制情報などを画面に表示することができます。
- ・ 出発地と目的地を登録することにより、推奨経路とその所要時間が分かる道案内情報表示機能。
- ・ 過去の統計データからの予測による将来の推奨経路も表示させることのできる統計予測道案内機能。
- ・ 特定区間を通過するのにかかる時間が分かる特定区間所要時間表示機能。
- ・ 特定の駐車場の混雑状況が分かる駐車場情報表示。

ATIS機能はATIS会員のみ利用できる機能です。ATIS加入について、詳しくはATISパンフレットをご覧ください。また、ATISサービスの中には利用できない項目がある場合もあります。ご了承ください。

本機にはあらかじめATISの会員ID番号が組み込まれています。ケースに貼られているシールに印字されたID番号を、ATIS入会申込書に転記してください。

安全運転のために

カーナビシステムの安全装置が働いているときは、ATISセンターとの通信ができません。パーキングブレーキを引いて、車が停車している状態でないと、メニュー画面が表示されず、目的地設定などの一部の複雑な操作ができないようになっています。

XA-165A

デジタル携帯電話と接続して使用します。

デジタル携帯電話の16ピンコネクターを使ってATISユニットと接続します。接続にはデジタル携帯電話アダプターXA-170Cが必要です。

ATISセンターの通信が自動ダイヤルで行われます。

ATIS機能を使うには、ATIS対応ディスクをナビシステムのディスプレイヤーに入れてください。

XA-160A

アナログ携帯電話またはデジタル携帯電話と接続して使用します。

アナログ携帯電話使用時

アナログ携帯電話のイヤホンマイク端子(ステレオミニジャック)を使ってATISユニットと接続します。

ATISセンターとの通信は「情報収集」画面からの手動ダイヤル操作になります。

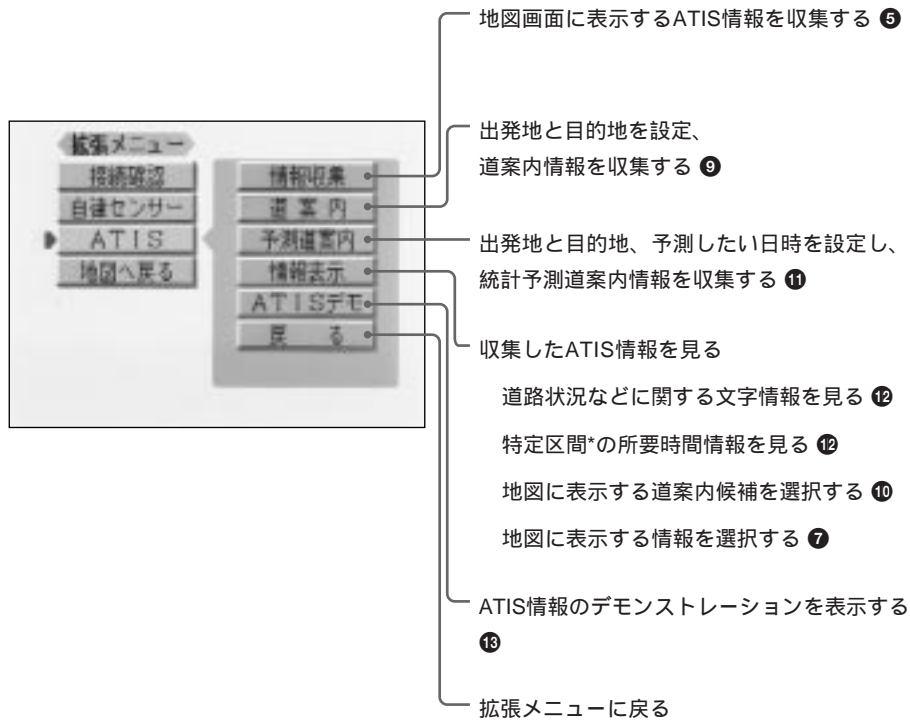
デジタル携帯電話使用時

XA-165Aと同様です。

ATIS機能を使うには、ATIS対応ディスクをナビシステムのディスプレイヤーに入れてください。

ATIS情報のメニュー

内のページに詳しい説明があります。



* 特定区間とは、ATISセンターによってあらかじめ決定された区間のことです。

ご注意

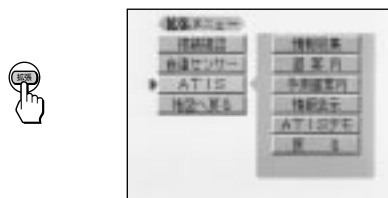
- ・ ATIS対応の地図ディスク以外では地図上にATIS情報を表示することはできません。
 - ・ ATISサービス対象の地域以外では情報が表示されません。
 - ・ ATIS情報は地図の縮尺によっては表示されない場合もあります。
- ATIS情報をご覧になるときは、なるべく詳細な地図画面にしてください。

ATIS情報を地図画面に表示させる

ATIS対応ディスクを入れてください。

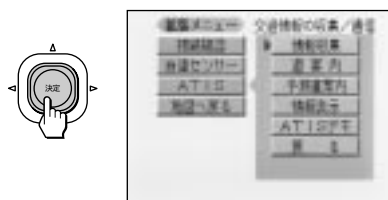
1 拡張ボタンを押す

拡張メニュー画面になります。



2 ジョイスティックで「ATIS」に ▶を合わせて、決定ボタンを押す

「ATIS」メニュー画面になります。



アナログ携帯電話使用時は、「情報収集」画面で「ダイヤル操作」の設定 (7ページ) を「手動」にしてください。

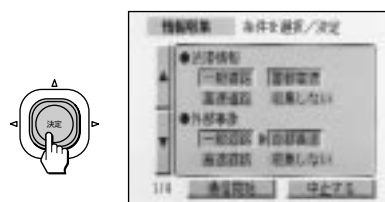
ご注意

- ・ ナビシステム本体にATISユニットを接続しないとATISメニューは表示されません。
- ・ 秘話機能付きの電話の場合は、必ず機能をOFFにしてからお使いください。

「戻る」を選ぶと

拡張メニュー画面に戻ります。

3 「情報収集」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

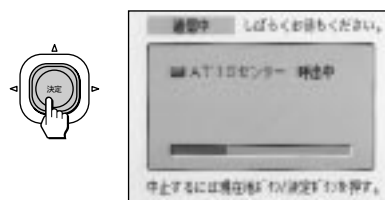


「知りたい情報を選ぶ」(7ページ) にしたがって表示する内容を設定します。

4 「通信開始」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

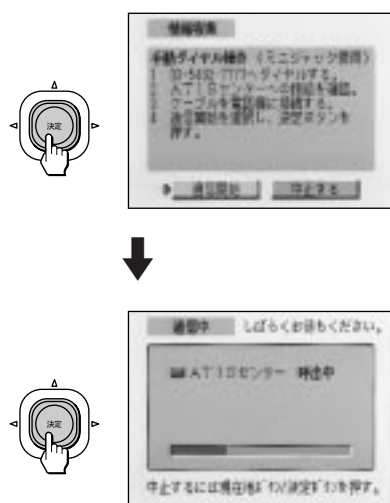
デジタル携帯電話のとき (ダイヤル自動操作)

そのままATISセンターへ通信を開始し、赤いシンボルマークが点滅します。



ATIS情報を地図画面に表示させる (つづき)

アナログ携帯電話のとき (ダイヤル手動操作)
「ダイヤル手動操作」画面が表示されます。表示されている手順に従って、ATISセンターへ通信してください。通信中は赤いシンボルが点滅します。



通信が正常に終了すると、地図画面にATIS情報を表示します。

ご注意

XA-160Aをアナログ携帯電話のイヤホンマイク端子に接続している場合、ATIS機能を使わないときは、ケーブルを電話からはずしておいてください。

ATISセンターへの通信を中止するには
通信中に現在地ボタンを押すと、ATISセンターへの通信を中止し、地図画面に戻ります。

また、決定ボタンを押すと、直前の画面に戻ります。

ご注意

- ・ 携帯電話などの電波状況により、通信できないことがあります。
- ・ ATISセンターへの通信にエラーが発生した場合には、「通信エラー」が画面に表示され、通信を中止します。通信をし直す場合には、1分間待ってから「通信開始」を選んでください。「中止する」を選ぶと地図画面へ戻ります。「通信エラー」の内容については、「こんなメッセージが表示されたときは」(17ページ)を参照してください。
- ・ 通信エラーが多い場合は、電話機の受話音量を最大にしてお使いください。(アナログ携帯電話の場合)

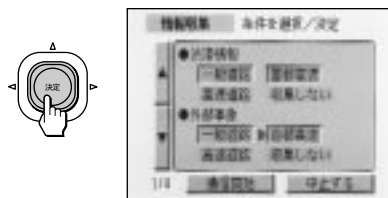
ご注意

通信中に電源を切った場合などに、電話回線がしばらくつながったままの状態になることがあります。通信終了後には、回線が切れていることを必ず確認してください。

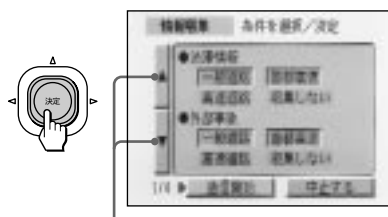
知りたい情報を選ぶ

情報収集時に必要な情報を選ぶことができます。必要な情報だけを選ぶことで、ATISセンターに通信する時間を短縮することができます。

1 ATISメニューの「情報収集」に ■を合わせ、決定ボタンを押す



2 必要な情報または条件を選び、 決定ボタンを押して設定する



設定項目のページを前後に送る

「渋滞情報」の設定

現在渋滞している道路に渋滞状況を表示します。情報を知りたい道路の種類を選択してください。

「外部事象」の設定

道路工事や祭事などによって交通規制が行われる場合に、その情報をシンボルマークで表示します。

「駐車情報」の設定

この項目を選択すると、駐車場の混雑状況がシンボルマークで表示されます。

「特定区間」の設定

特定区間の所要時間を知りたい場合は、この項目を選択してください。所要時間を画面に表示させる操作は「特定区間の所要時間を知る」(12ページ)を参照して行ってください。

「関連情報」の設定

この項目を設定すると、取り締まりなどの交通関連情報を見ることができます。関連情報をご覧になるには「ATISセンターなどからのメッセージを見る」(12ページ)を参照してください。

「情報収集エリア」の設定

情報を知りたい地域を選択してください。指定した地域を含んだエリアの情報が収集されます。(県境を越えた周辺地域の情報も収集されます)

「ダイヤル操作」の設定

使用する電話の種別を設定します。デジタル携帯電話とXA-170Cを使用する場合は「自動」に、アナログ携帯電話を使用する場合は「手動」に設定します。

ご注意

- ・ デジタル携帯電話使用時に「手動」、またはアナログ携帯電話使用時に「自動」に設定すると、通信エラーになります。
- ・ XA-165Aはデジタル携帯電話専用です。必ず「自動」に設定してお使いください。

知りたい情報を選ぶ (つづき)

「情報自動消去」の設定

「する」に設定すると、収集した情報のデータは2時間後に自動消去されます。「しない」に設定すると、収集した情報は再度ATISセンターに通信を行なうまで保持されます。

3 「通信開始」に▶を合わせ、決定ボタンを押す

ATISセンターへの通信を開始します。

表示させる情報を選択するには

通常はATISセンターへ通信し、収集した情報がすべて地図画面に表示されます。

不要な情報を表示させたくない場合には、「情報表示」メニューの「表示設定」に▶を合わせて決定ボタンを押し、ON/OFF設定することができます。データ保持時間内であれば、再びその項目を選択すれば表示できます。

すべての情報表示を消すには

メニューボタンを押し、「情報」メニューの「ドライブ情報」に▶を合わせて決定ボタンを押します。リストから「ATISインフォメーション」以外を選ぶと、すべての情報表示が消えます。もう一度表示させたい場合には、同じ操作で「ドライブ情報」リストから「ATISインフォメーション」を選択してください。

道案内情報を表示させる

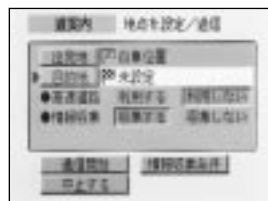
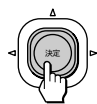
以下の操作で出発地と目的地を設定すると、ATISセンターが推奨する経路を地図画面に表示することができます。

ご注意

ATIS機能の道案内機能で表示される推奨経路を走行する際は、実際の交通規制などに従って走行してください。

出発地と目的地を設定する

1 ATISメニューから「道案内」を選ぶ

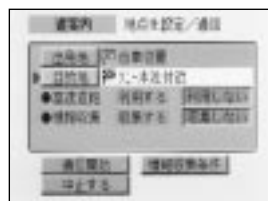
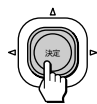


自車がATISサービス対象道路から離れている場合や出発地を自車位置付近以外の地点に設定したい場合は、出発地の設定 (10ページ) を行ってください。

2 「目的地」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

すでに目的地が設定されている場合には「目的地」を選択すると、すでに設定されていた地点は消去されます。

3 目的地に+マークを合わせて、決定ボタンを押す



目的地が設定され、「道案内」メニューへ戻ります。

ご注意

ATISサービス対象道路は、地図上に太線で表示されています。出発地と目的地は太線上に設定してください。ATISサービス対象道路以外では、道案内情報を表示することはできません。

また、設定はなるべく詳細な地図画面で行ってください。

非常に長い直線道路などではまれにATISサービス対象道路上でも設定できないことがあります。この場合には付近の交差点上などに設定してください。

見たい場所をより早く探す

最初に広域な地図でおおよその位置を探し、次にズームボタンでより詳細な地図を選びます。この操作を繰り返すと、より早く探せます。

情報収集の条件を変更する

「高速道路」の設定

高速道路を利用する場合には「利用する」を、利用しない場合は「利用しない」を選択してください。

「情報収集」の設定

道案内と同時に「情報収集」をする場合には「収集する」を、収集しない場合には「収集しない」を選択してください。

収集条件を確認/変更する場合には「情報収集条件」に▶を合わせて決定ボタンを押し、条件を設定してください。

道案内情報を表示させる (つづき)

出発地の設定

通常、出発地は自車位置付近に設定されています。
この場合、自車位置付近のATISサービス対象道路に出発地が設定されます。

自車位置がATISサービス対象道路上でない場合や自車位置付近以外の地点に設定したい場合には、次の操作を行います。

- 1 「出発地」に■を合わせて、決定ボタンを押す
出発地選択画面になります。
- 2 「自車位置以外」に■を合わせて、決定ボタンを押す
地図画面になります。
- 3 出発地に+マークを合わせて、決定ボタンを押す
矢印が表示されます。
- 4 ジョイスティックを押して、矢印の向きを進行方向に合わせて、決定ボタンを押す
出発地が設定され、「道案内」メニューへ戻ります。

4 「通信開始」に■を合わせて、決定ボタンを押す

デジタル携帯電話の場合 (ダイヤル自動操作)
ATISセンターへ通信を開始します。

アナログ携帯電話の場合 (ダイヤル手動操作)

「手動ダイヤル操作」画面が表示されます。表示されている手順に従って、ATISセンターへ通信してください。

他のATIS情報とともに道案内情報を収集できます。

アクセスが終わると地図画面に推奨経路が表示されます。画面の表示やシンボルマークについては「ATIS情報の画面表示」(14ページ)をご覧ください。

目的地表示とともに表示される所要時間は、ATISセンターの計算によるものです。

道案内候補を選ぶ

画面に表示されている推奨経路は、出発地から目的地までの所要時間が最短の経路ですが、別の推奨経路を表示することができます。道案内候補は最大3候補の中から選択し、表示することができます。

1 ATISメニューの「情報表示」に■を合わせて、決定ボタンを押す

2 「道案内候補」に■を合わせて、決定ボタンを押す

「道案内候補」画面が表示されます。



3 表示したい道案内候補に■を合わせて、決定ボタンを押す

地図画面に戻ります。

ご注意

経路によっては、候補が1つしかない場合もあります。

ご注意

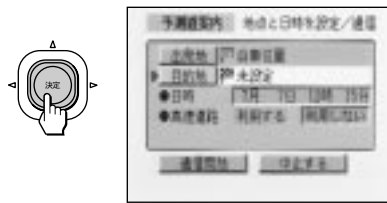
「通信エラー」のときは、エラーの種類によっては道案内機能が自動的に解除されることがあります。この場合、出発地、目的地の設定をもう一度やり直してから、ATISセンターへ通信してください。

予測道案内情報を表示させる

統計予測道案内とは、過去の統計によるデータから道路の状況を予測して、将来の時点での推奨経路を表示するものです。(’95年6月現在、翌月の月末までの予測を見ることが可能です。)

1 ATISメニューの「予測道案内」に●を合わせて、決定ボタンを押す

「予測道案内」画面が表示されます。



予測日時を設定するには

設定したい「日時」の項目に●を合わせて決定ボタンを押し、ジョイスティックを上下に動かして日時を変更して決定ボタンを押します。

2 「道案内情報を表示させる」(9ページ)の手順2～4の操作を行う

通信が終わると地図画面が表示され、統計予測による推奨経路が表示されます。

ご注意

- ・統計予測道案内の地図画面のときは、渋滞表示あるいは駐車場情報などの情報は同時に表示できません。
- ・「通信エラー」のときはエラーの種類によっては統計予測が自動的に解除されることがあります。この場合、予測日時あるいは出発地、目的地の設定をもう一度やり直してから、ATISセンターへ通信してください。

現在の情報に戻るとき

いったん統計予測道案内を設定して通信すると、すでに呼び出してある現在の情報はすべて消えてしまいます。再び現在の道路情報や道案内を見るときは再度ATISセンターに通信してください。

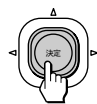
ATISセンターなどからのメッセージを見る

ATISセンターや警視庁、各県警などから送られてくる、道路状況などに関する文字メッセージを見ることができます。

1 ATISメニューの「情報表示」に ■を合わせて、決定ボタンを押す

「情報表示」画面が表示されます。

2 「お知らせ」に■を合わせて、決定ボタンを押す



画面左下にページ数が表示されているときは画面上の▲▼ボタンを選択して、前後のページを見ることができます。

ご注意

情報収集画面で選択されていない収集エリアのメッセージは表示されません。他のエリアのメッセージを見たいときは、情報収集画面の設定項目で希望のエリアを選択し、通信してください。

2 「メニューへ戻る」を選ぶ

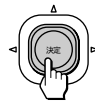
拡張メニュー画面に戻ります

特定区間の所要時間を知る

特定区間の道路を通過するのにかかる時間についての情報を表示します。

1 ATISメニューの「情報表示」に ■を合わせて、決定ボタンを押す

2 「特定区間」に■を合わせて、決定ボタンを押す



画面左下にページ数が表示されているときは画面上の▲▼ボタンを選択して、前後のページを見ることができます。

ご注意

- 情報収集画面で選択されていない収集エリアのメッセージは表示されません。他のエリアのメッセージを見たいときは、情報収集画面の設定項目で希望のエリアを選択し、アクセスしてください。

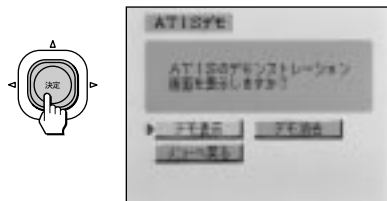
2 「メニューへ戻る」を選ぶ

拡張メニュー画面が表示されます。

ATISデモの見かた

ATISからの情報が地図画面にどのように表示されるかを、画面で確認することができます。(表示される情報は架空のデータです。現在の情報ではありません。)

- 1 ATISメニューの「ATISデモ」に
■を合わせて、決定ボタンを押す



- 2 「デモ表示」に■を合わせて、決定ボタンを押す

ATISの模擬情報を表示します。



ATISデモを終了するには
拡張ボタンを押し、ATISメニューから「ATISデモ」を選択し、「デモ消去」に■を合わせて、決定ボタンを押します。

ATIS情報の画面表示



情報収集時刻

駐車場表示

道路状況表示

ATIS対象道路の右車線、左車線それぞれの道路状況が表示されます。

道路状況の表示

色線	色線が表示している情報
色線なし	通常走行*
赤	渋滞** (一般道路 0～10km/h、都市内高速 0～20km/h、都市間高速 0～40km/h)
ピンク	混雑 (一般道路 10～20km/h、都市内高速 20～40km/h、都市間高速 40～60km/h)
黒	不明 (情報なし)

* ATISサービス対象道路が渋滞していないときは、色線なしの太線で表示されますが、情報を知りたい道路あるいは収集エリアを各種設定画面で選択していない場合も、同様に色線なしの太線で表示されます。渋滞がないとは限りませんので、ご注意ください。

***95年6月現在、東京都以外の一般道に関しては、0～20kmが赤になります。



推奨経路の表示

色線	色線が示している情報
緑	一般道路
黄	高速道路

駐車場情報のシンボルマーク

シンボルマーク	マークが示している情報
(青色)	空車
(ピンク色)	混雑
(赤色)	満車
(黄色)	閉鎖
(白色)	不明 (情報なし)

推奨経路のシンボルマーク

シンボルマーク	マークが示している情報
	出発地
	目的地 (時間は所要時間を表しています。)

規制情報のシンボルマーク

シンボルマーク	マークが示している情報
	交通規制
	通行止め規制
	進入規制
	右/左折規制
	速度規制
	10キロ規制 (80キロ規制まで表示します。)
	車線規制
	片側規制
	チェーン規制
	オンランプ規制
	ランプ入口閉鎖
	ランプ入口制限
	事故発生
	工事中
	事故/工事以外の原因により規制中

・ 収集時刻について

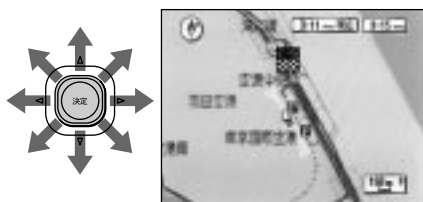
画面に表示される時刻は、ATISセンターがその情報を収集した時刻です。

・ 収集時刻が「― : ―」の場合

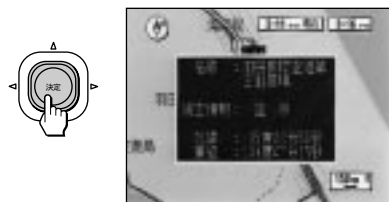
ATISセンターとの通信が行われていない場合や、データ保持時間を超えているときなどには、交通情報などが消えていることがあります。ATISセンターに通信し直してください。

シンボルマークの詳しい情報を見る

- 1 ジョイスティックで、シンボルマークに+マークを合わせる



- 2 +マークが手のマークに変わったところで、決定ボタンを押す



シンボルマークについて、さらに詳しい情報が表示されます。

縮尺によってはATIS情報が表示されない場合があります。その場合は、ズームボタンでより詳細な地図にしてください。

こんなメッセージが表示されたときは

内のページに、詳しい説明があります。

メッセージ	メッセージが表示されるとき	原因または処置
「通信エラー」*	通信中に何らかの原因でエラーが発生したとき。	下記を参照してください。 ⑤
「ATISサービス対象道路が遠すぎます。地点を近くに設定してください。」	道案内の出発地/目的地をATISサービス対象道路から遠い位置に設定しようとしたとき。	ATISサービス対象道路 (地図上では太線で表示) に近い位置に設定しなおしてください。⑨
「出発地、あるいは目的地が未設定です。」	道案内の出発地/目的地が設定されていないとき。	出発地と目的地を設定してください。⑨
「ATISディスクではありません。ディスクを交換してください。」	ATIS対応ディスク以外のディスクをお使いのとき。	ATIS対応ディスクをお使いください。②

*「通信エラー」の下に詳細な内容が表示されることがあります。

「電話の電波の強さを確認してください」 : 携帯電話の回線状態が悪いなどの場合、通信データにエラーが発生したときなど。携帯電話などの受信状態が良く安全な場所に移動したあと、もう一度最初から通信し直してください。

「回線切断中」 : 電話回線を切断中のとき。しばらく待ってから通信し直してください。

「情報量が多すぎます。情報収集画面で収集する情報を減らしてください」 : ATISセンターから収集した情報の量が多すぎたとき。情報収集画面で収集する情報を減らしてから通信し直してください。

「回線がつながりません」 : 携帯電話の回線状態が悪いなどの場合に、回線が切断されたとき。携帯電話などの受信状態が良く安全な場所に移動したあと、もう一度最初から通信し直してください。

「ID番号エラー」 : 本機に設定されているATISのID番号が、ATISセンターに会員登録されていないとき。ATIS入会申込書に本機のID番号を記入して(3ページ)、入会申し込みを行ってください。

「出発地/目的地が近すぎます」 : 道案内の出発地と目的地の設定が近すぎるとき。出発地と目的地の位置を離して設定し直してください。

「所要時間を計算できないリンクが存在します」 : 道案内の出発地と目的地を結ぶATISサービス対象道路での経路が存在しないとき。出発地と目的地の位置を設定し直してください。

「統計予測ができないリンクが存在します」 : 統計予測道案内の出発地と目的地を結ぶATISサービス対象道路での経路が存在しないとき。出発地と目的地の位置を設定し直してください。

「センター停止中」 : ATISセンターのサービスが停止しているとき。

故障かな？と思ったら

内のページに、詳しい説明があります。

症状	原因および処置
「ATISインフォメーション」が表示されない。	ATIS対応の地図ディスク以外のディスクを使用している。 ATIS対応の地図のディスクをお使いください。②
「ドライブ情報」メニューで「ATISインフォメーション」を選択しているが、渋滞情報などが表示されない。	<ul style="list-style-type: none">・ ATISセンターに長時間通信していないとき。 ATISセンターに通信してください。⑤・ 広域地図が表示されている。 ズームボタンでより詳細な地図を選んでください。・ ATISサービス対象地域以外の場所の地図を表示している。・ 「各種設定」画面で、情報が必要な項目が選択されていない。あるいは表示したい地域以外の「収集エリア」が選択されている。 必要なエリア、項目を選択してください。⑦・ 表示している道案内が、統計予測によるものであるとき。⑪
何回通信し直しても、「通信エラー」の表示が出る。	<ul style="list-style-type: none">・ 本体、ATISユニット、デジタル携帯電話アダプターおよび携帯電話などを接続しているケーブルがはずれている。 接続を確認してください。・ 携帯電話などの設定が正しく行われていない。 携帯電話などの取扱説明書をご覧ください。

主な仕様

適用回線	電話回線 移動電話回線：アナログ方式
回線接続方式	通信コネクター、3線式ステレオプラグ
使用電源	DC12V (ナビゲーションシステム本体より供給される)
選択信号種別	DP (10/20pps) PB (ATコマンドにより選択)
網制御機能	発進のみ (移動電話使用時手動発進、電話回線使用時自動発進)
直流抵抗値	287オーム
通信速度	2400/1200bps
通信方式	ITU-T V.22bis
変調方式	QAM/PSK
収容回線数	2回線 (同時使用はできません。)
外部インターフェース	RS-232C

本体寸法	約160 × 25 × 102mm (幅 × 高さ × 奥行き)
質量	XA-160A 約380g XA-165A 約340g

付属品	取り付け/接続部品 (一式) バージョンアップディスク (1) ソニーご相談窓口のご案内 (1) 保証書 (1) 安全のために (1) 取り付けと接続説明書 (1) 取扱説明書 (1)
-----	--

別売り品	デジタル携帯電話アダプター XA-170C NAVI BUS延長コード RC-117
------	---

保証書とアフターサービス

保証書

- ・ この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・ 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・ 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではナビゲーションシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客様相談センターへ 東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111